

Tokushima  
Literary  
Awards.



第16回

# とくしま文学賞

## 作品募集

●募集締切 平成30年9月30日(日)当日消印有効

●募集部門・選考委員(50音順敬称略)

小説 山本道子

脚本 ふじたあさや

文芸評論 依岡隆児

児童文学 くすのきしげのり

随筆 佐々木義登

現代詩

清水恵子

短歌 紀野恵・佐藤恵子・竹安隆代・松田一美

俳句 岩田公次・上窪青樹・谷中隆子・西池冬扇

西本潤・福島せいぎ・船越淑子・山田讓太郎

土橋旗一・徳長怜子・中尾住吉・福本清美

川柳 東條士郎

連句

●賞

部門ごとに最優秀作・優秀作・佳作を入賞とし、

最優秀のみ副賞を贈呈します。

小説・脚本・文芸評論・児童文学 副賞5万円(各1点)

随筆・現代詩・短歌・俳句・川柳・連句 副賞2万円(各1点)

●応募先

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

県立文学書道館「とくしま文学賞」係

●主催

徳島県・徳島県立文学書道館

# とくしま文学賞 2018 Tokushima Literary Awards.

## 応募要領

- 徳島県内在住者または徳島県出身者に限ります。
  - 未発表の作品に限ります。同人雑誌などに投稿し、活字として掲載された作品は応募できません。
  - 「小説・脚本・文芸評論・児童文学・随筆」部門は、400字詰め原稿用紙に縦書き。下記①～⑦を別紙に明記し、作品とともに右肩を綴じてください。ワープロ使用の場合はA4用紙横に40字×30行で縦書きし、400字詰め原稿用紙換算の枚数を下記①～⑦とともに別紙に明記してください。
  - 「現代詩・連句」部門は、400字詰め原稿用紙に縦書き。ワープロ使用の場合はA4用紙横に20字×20行で縦書き。下記①～⑦を別紙に明記し、作品とともに右肩を綴じてください。
  - 「短歌・俳句・川柳」部門は、官製ハガキに作品とともに下記①、③～⑦をご記入ください。
- ①応募部門 ②題名(短歌・俳句・川柳を除く) ③住所 ④氏名(ペンネーム・雅号を使用する場合は本名も記入)  
⑤年齢 ⑥職業(児童・生徒は学校・学年) ⑦電話番号

部門	原稿用紙(400字詰め)	ワープロ(A4用紙横に縦書き)	官製ハガキ	応募数
小説	50枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
脚本	100枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
文芸評論	20枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
児童文学	20枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
随筆	5枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
現代詩	2枚以内	1ページ 20字×20行		1人1編
短歌・俳句・川柳			1枚	1人2首もしくは2句以内
連句(形式自由)	2枚以内	1ページ 20字×20行		1グループ1編

- 応募された作品の訂正・差し替え・返却はできません。
- 類想、類句については賞を取り消すことがあります。

## 発表

12月中旬を予定(新聞紙上、文学書道館ロビーおよびホームページ)

## 作品集

各部門の入賞作品を「文芸とくしま」に収録(2019年2月中旬発行予定)

## 選考委員プロフィール

### ●小説・山本道子

作家、詩人。7歳から2年間海部郡に疎開。21歳で詩誌「歴史」の同人に迎えられ、多くの詩を発表。1972年に「魔法」で新潮新人賞、翌年「ベティさんの庭」で芥川賞を受賞。このほか女流文学賞(『ひとの樹』)、泉鏡花文学賞(『喪服の子』)、島清恋愛文学賞(『瑠璃唐草』)を受賞。

### ●脚本・ふじた あさや

劇作家。1953年、福田善之氏との合作「富士山麓」でデビュー。仮面劇場・三十人会で劇作、演出にあたる。73年からフリーとなり、前進座、文化座、青年劇場などに戯曲を提供する一方、児童青少年演劇、音楽劇などの脚本・演出も手がける。作品に『しのだづま考』(92年文化庁芸術祭賞受賞)など、日本劇作家協会監事。

### ●文芸評論・依岡隆児

徳島大学総合科学部教授。専門はドイツ文学、比較文学・比較文化学。著書に『ギュンター・グラスの世界—その内省的な語りを中心に』、『読書のススメ—四国から、グローバルに—』、『ギュンター・グラス—「渦中」の文学者』、『四国グローバル—日本とドイツの文化交流から』、訳書に『玉ねぎの皮をむきながら』など。

### ●児童文学・くすのきしげのり

児童文学作家。『おこだでませんように』が2009年度、『メガネをかけたら』が13年度の青少年読書感想文コンクール課題図書に選ばれる。『おかあしちゃん。はあい。』や『いちねんせいの1年間』シリーズなど著書多数。11年に阿波文化創造賞、16年にとくしま芸術文化賞を受賞。

### ●随筆・佐々木義登

作家、四国大学教授。二松学舎大学在学中に文芸評論家・上総英郎に師事する。2007年、「青空クライシス」で三田文学新人賞を受賞。以後「桃」「ナイフ」「空に住む木馬」「鈴の音」を発表する。著書に『郷里』。「全国高等学校文芸誌賞」選考委員。13年、とくしま芸術文化奨励賞を受賞。徳島文学協会会長。

### ●現代詩・清水恵子

詩人。1995年、詩集『あびてあびて』で日本詩人クラブ新人賞、2002年、詩集『あつあつ』で徳島県出版文化賞特別賞を受賞。徳島新聞「徳島詩壇」選者。徳島新聞カルチャーセンター詩の通信講座講師。日本ペンクラブ会員。日本文芸家協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。他の詩集に『ぎざぎざ』『駄駄』など。

### ●短歌・紀野 恵

「七曜」会員。「未来」選者。徳島新聞「徳島歌壇」選者。「異郷にて」で角川短歌賞次席、「荷風のくしやみ」で短歌研究新人賞次席。歌集に『白猫倶楽部』など。

### ●短歌・佐藤恵子

「徳島歌人」主宰。徳島新聞「徳島歌壇」選者。徳島県歌人クラブ会長。著書に歌集『帰郷』『琵琶の橋』『風の峠』『山麓の家』、評伝『生田花世』など。

### ●短歌・竹安隆代

「雲珠」編集・発行人、現代歌人協会会員。徳島新聞「徳島歌壇」選者。歌集に『風樹』『山はみな火に燃えて』『流氓の海』『雨過天青』など。

### ●短歌・松田一美

「玲瓏」編集委員。1991年から歌人・塚本邦雄に師事する。徳島新聞「徳島歌壇」選者。「飛行船」同人、県連句協会理事。

### ●俳句・岩田公次

「祖谷」主宰。ホトギス同人。日本伝統俳句協会理事、四国支部長。日本現代詩歌文学館振興会評議員。朝日新聞「徳島俳壇」選者。

### ●俳句・上窪青樹

「風嶺」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。徳島県現代俳句協会副会長。徳島ペンクラブ理事、藍住町文化協会会長。句集に『月光仮面』がある。

### ●俳句・谷中隆子

「藍花」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。俳人協会評議員、徳島支部長。句集に『冬椿』『くれなゐに』『花蓼』『花籠』『花樽』など。

### ●俳句・西池冬扇

「ひまわり」主宰。日本俳人クラブ会長、俳人協会評議員。徳島新聞「徳島俳壇」選者。「俳句界」雑誌欄選者。句集に『8505』『碇星』、随筆集に『時空の座拾遺』など。

### ●俳句・西本 潤

「松苗」主宰。毎日新聞「徳島俳壇」選者。徳島老友新聞「老友俳壇」選者。シルバー大学の「俳句教室」講師。俳人協会会員。句集に『十三夜』。

### ●俳句・福島せいぎ

「なると」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。句集『台湾優遊』で台湾俳句文学賞受賞。著書『古玩愛賞』でとくしま出版文化賞特別賞受賞。

### ●俳句・船越淑子

「青海波」主宰。徳島県現代俳句協会会長、日本俳人クラブ会員。句集に『追羽根』『神楽舞』『遊月』。

### ●俳句・山田讓太郎

「航標」主宰。徳島新聞「ヤングカルチャー季節のひとかけら」選者、毎日新聞「徳島俳壇」選者。俳人協会会員。句集に『櫻風記』がある。

### ●川柳・土橋旗一

徳島川柳作家連盟会長。「川柳阿波」編集発行人。番傘川柳本社同人。徳島新聞「徳島柳壇」。「ジュニア川柳」選者。

### ●川柳・徳長怜子

一の坪吟社代表。ふあうすと川柳社同人理事。毎日新聞「徳島柳壇」選者、読売新聞「阿波文芸」選者。徳島市老人クラブ連合会「文芸ひろば」選者。

### ●川柳・中尾住吉

「川柳さんぼみち」創刊代表。川柳鳴峽会同人。県老人クラブ連合会「読者文芸」選者。

### ●川柳・福本清美

徳島番傘川柳会会長。「川柳阿波」同人。徳島新聞「徳島柳壇」選者。全日本川柳協会常任幹事、番傘川柳本社幹事同人、番傘四国総局副会長。

### ●連句・東條士郎

徳島県連句協会会長。日本連句協会副会長。2002年、04年、06年、10年に芭蕉祭献詠連句特選。07年、16年に浪速の芭蕉祭献詠連句大賞などを受賞。09年に賀雀庵五世を襲号。連句集に『鏡空帖』『花筐抄』。

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540 http://www.bungakushodo.jp